

番号	28 - 27	申請者	臨床検査技師長 佐々木 康雄
<b>【審査申請課題】</b> 日本臨床衛生検査技師会「医学検査」への症例論文の投稿			
<b>【審査課題の概要】</b> 肝膿腫のシャルコ・ライデン血症が発端となった赤痢アメーバの一症例			
審査結果	承認 ( 平成28年10月12日 )		

番号	28 - 28	申請者	薬剤師 千場 美奈
<p><b>【審査申請課題】</b></p> <p>タゾバクタム/ピペラシリンによる肝機能検査値異常の実態調査</p>			
<p><b>【審査課題の概要】</b></p> <p>タゾバクタム/ピペラシリン(tazobactam/piperacillin:TAZ/PIPC)は、βラクタマーゼ阻害剤と広域抗菌スペクトルを有するペニシリン系抗菌薬を1:8の割合で配合した抗菌薬であり、尿路感染症や院内肺炎の第一選択薬として推奨されている。副作用には、劇症肝炎等の重篤な肝機能障害や急性腎不全等の重篤な腎障害があらわれることがあるため、使用の際は定期的な検査を行うなど十分な注意が必要である。腎機能については、腎機能に応じた薬物動態パラメータが報告されているため、腎機能障害時には投与量、投与間隔を調節し投与継続が可能となっている。しかし、肝機能障害時は慎重に投与することのみであり、詳細は不明であるため、TAZ/PIPC投与時の肝機能検査値異常発現率と重篤度、肝機能検査値異常に影響を及ぼす要因について検討する。</p>			
審査結果	承認 (平成28年10月17日)		